



技術書評

図書館からはじまるものづくり百鬼夜行つろか！実行委員会編

まえがき

2018年12月22,23日に大阪市立中央図書館において開催された、「図書館からはじまるものづくり百鬼夜行つくろか！」を記念して、スタッフと出展者に呼び掛けて、技術書のレビュー誌を発行する運びとなりました。

ものづくり系のイベントで制作発表やワークショップなどがありますが、イベントだけでは伝搬力に限りがあります。ものづくりのすそ野を広げていくための技術の伝承には、やはり長い年月に培われてきた書籍の持つポテンシャルは大きいです。しかし本はたくさんありすぎる。どの本を読んだらいいかわからない。

本書は、その技術ジャンルで確かな技術力を持ったエキスパートの方が本当に良い本を紹介してくれています。ぜひ手に取って読んでみてください。

目次

1. プログラミング関係
2. 電気電子回路関係
3. 工作関係
4. その他
5. 雑誌
6. つくろか！開催報告

表紙絵

『京、阪、神、奈良風物版画集』

大阪鉄道局 刊年不明

大阪市立図書館デジタルアーカイブ



§ 1 プログラミング関係



LEGO MINDSTORMS ラーニング & プログラミングガイド

David Baum
(川森,清遠,田村 共訳)

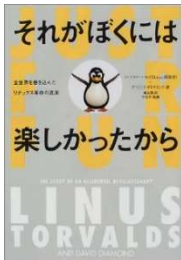
シュプリンガー
フェアラーク東京

対象:初心者・子供

ISBN 978-4431709008

1998年の初代LEGO MINDSTORMS対応の本。付属するブロック型グラフィカルプログラミング環境に飽き足らず、NQC(Not Quite C)というテキスト型開発言語を作ったD.ボーム氏著書の日本語版(2001年刊)。書籍内14作品例のプログラムは書籍付属のCDに、付属ソフト用/別売のRoboLab用/上記NQC用がそれぞれ収録されており「センサ入力/モータ出力を備えたプログラミングできるLEGO」を楽しむ。なお、この初代LEGO MINDSTORMS Robotics Invention System[R.I.S.]は世界で最も多数販売されたレゴのパッケージ製品だそうだ。(情報源: BrickFest Japan 2016)

(Kawamori Craft)



それがぼくには楽しかったから 全世界を巻き込んだリナックス革命の真実

リーナス・トーバルズ デビッド・ダイヤモンド

小学館プロダクション

対象:初心者・大人

ISBN 978-4796880015

この本は技術解説の実用書ではなく、読み物です。Linuxの開発者リーナス・トーバルズの自伝です。技術的な部分は少しか出てきません。普通の学生が興味をもってそして情熱をもって取り組んでいるうちに、OSをまるごと作ってしまったという実話です。当時の業界権威の大学教授とやりあったりするところなんか、とても面白く読めるかと思えます。楽しく趣味で作ったものが当時の時代の雰囲気もあいまって、当人の想像を超えた規模で広がって多くの人に使われていく。素晴らしいことです。(白井 温)



ビスケットであそぼう 園児・小学生からはじめるプログラミング

デジタルポケット

翔泳社

対象: 初心者・子供

ISBN 978-4798143057

ビスケットの開発者が最初に出版したビスケット本です。アプリのユーザーインターフェースやシステムが変更されている点もあります。(カツピコ)



できるキッズ 子どもと学ぶビスケットプログラミング入門

デジタルポケット

インプレス

対象: 初心者・子供

ISBN 978-4295002826

ビスケット開発者によるビスケット本第2弾です。出版後にシステムの変更が多少あると思います。(カツピコ)



小学校の「プログラミング授業」実況中継 [教科別]

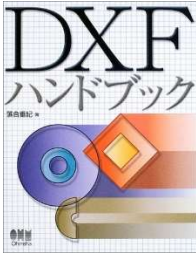
松田 孝 ほか

技術評論社

対象: 初心者・大人

ISBN 978-4774191034

BSフジで放映された番組の出演者が各教科を担当しています。ビスケット開発者の原田博士は社会の授業をしています。2020年度から必修化されるというもののプログラミングという科目ができる訳ではないので、その中でどのようにプログラミングが扱われるかという好例だと思います。(カツピコ)



DXFハンドブック

落合 重紀

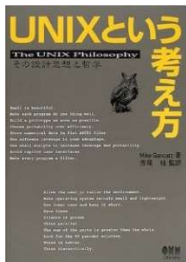
オーム社

対象: 中級者・大人

ISBN 978-4274065095

CADデータ交換の業界標準形式DXFですが、時折開けなかつたりします。勉強中のProcessingでDXF出力したものの、目あてのアプリから開かない、何故? 図書館で蔵書検索かけると、こういう本があるんですね。

DXFの構成や、情報と図形との対応を、実際にAutoCADから出力したDXFを元に、DXF内部の情報がそれぞれどのように関連しているかを見て理解できるように図示しながら具体的に説明する(書誌詳細: 内容紹介) 著者の別作「DXFプログラミングガイド」と合わせて、とても勉強になります。(こじま) (編注 第2版が出ています)



UNIXという考え方 —その設計思想と哲学

Mike Gancarz

オーム社

対象: 中級者・大人

ISBN 978-4274064067

UNIXの操作体系やコマンドラインインタフェースについての考え方を述べた本です。サブタイトルにある通り、UNIXはひとつの設計思想であり、哲学です。なぜ、面倒くさいコマンドをタイプしなければいけないのか、なぜオプションをいちいちユーザーが覚えてつけないといけないのか。この本にはそれらの理由と、そして設計思想が説明されています。

古い本ですし、すぐ役に立つ知識では無いかもしれませんが、エンジニアの教養として知っておくと良いと思います。(白井 温)



モダンC言語プログラミング

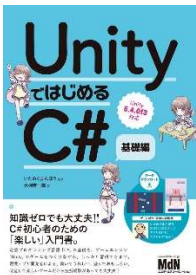
花井 志生

KADOKAWA

対象: 中級者・大人

ISBN 978-4048930673

組込み開発の統合開発環境、デザインパターン、エクストリーム・プログラミング、テスト駆動開発、リファクタリング、継続的インテグレーション等のモダンな開発手法を学べます。組込み関連の仕事をしていると、なかなか社外の方と交流する機会がなく古い開発手法しか知らずに効率の悪い仕事を続けがちです。この本を読むことは、組込み開発の新たな視点を得るためのいい機会になると思います。(drao)



UnityではじめるC# 基礎編

大槻 有一郎
いたのくまんぼう

エムディエヌコーポレーション

対象: 初心者・大人

ISBN 978-4844366089

Unityの使用法がイラスト付きでよくわかる。また、C#についても演習を交えながら取得することができるので非常によい。(めっきー)



新・明解C言語 入門編

柴田望洋

SBクリエイティブ株式会社

対象: 初心者・大人

ISBN 978-4797377026

C言語を学ぶ人にとっての教科書的定番の書です。とにかく分かり易い。(ikkei)

§ 2 電気電子回路関係



アースのはなし

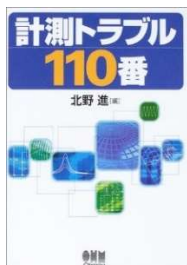
伊藤 健一

日刊工業新聞

対象：中級者・大人

ISBN 978-4526032295

伊藤先生の名著。アースって誰に聞いてもわかるようなわからないような説明が返ってきます。アースとグランドとOVの違いについて解説できますか。アースはノイズと深く関わっていて、ノイズ低減に重要な役割を果たします。でもそれをマスターするための書籍は実はほとんどありません。この本は難しい数式抜きにアースとは何なのか、たとえ話をふんだんに使い、分かりやすく口語で教えてくれます。机上の理論だけではなく、実際の実験結果もふんだんに使っているので非常にわかりやすく、実用的な本になっています。鵜呑みにするのは危いですが、いきなり専門書を読んでも数式やグラフばかりで難しすぎて、現場でどうしたらいいのかさっぱりわからないことも多いです。まずこのシリーズで感覚をつかんで、専門書に移行するのがお薦めです。(小林竜馬)



計測トラブル110番

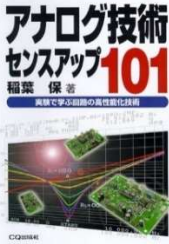
北野 進

オーム社

対象：上級者・大人

ISBN 978-4274943133

高感度な測定器メーカーであるエヌエフ回路設計ブロックの創設者の著作。計測装置を構成するための注意点を一通り身に着けるのに適しています。ケーブルや信号増幅、ノイズの種類や対策。測定器メーカーの創設者らしくロックインアンプやLCRメータ周波数特性分析器、直流安定化電源、交流電源などについて詳しく書いてあります。どんなレベルの人でも参考になることが書いてあると思います。(小林竜馬)



アナログ技術センスアップ101

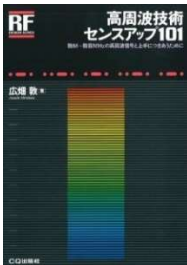
稲葉 保

CQ出版

対象：上級者・大人

ISBN 978-4789832731

アナログ技術は非常に奥深いものですが、デジタル全盛の現代ではほとんどその難しさを語られることはありません。センスとADコンバータとマイコンをつなげばいいんでしょ、というくらいで済まされていることも多いように感じます。しかしアナログ技術は奥深いのでまともに勉強しようとするとなんか数式も駆使して本気でやってもそう簡単ではありません。本書ではつまづきがちなところを重点的に実例をもとに解説してくれていて、一通り読めば大体のトラブルを対処することができるようになります。もちろん本書だけではすべてカバーすることはできませんが、調べるためのとっかかりを作ってくれます。アナログ回路技術が確実にセンスアップすることうけあいです。(小林竜馬)



高周波技術センスアップ101

広畑 敦

CQ出版

対象：上級者・大人

ISBN 978-4789830416

昨今の回路はどんどん高周波になってきていますが、その高周波技術はまともに扱おうとすると非常に難しく、線がつかないでオームの法則でというような知識ではまったく手も足もでない領域になってきています。伝送線路や、インピーダンスマッチング、そして避けて通れないスミスチャート、スイッチ、検波、ミキシング、増幅回路などなど。最後に実装技術の実際まで至れり尽くせりで、一通りの知識を詰め込むことができます。高周波全然わかんないなあという方、更にもう一步知識を深めたいという方にお勧めです。

(小林竜馬)



計測のためのアナログ回路設計

遠坂 俊昭

CQ出版

対象：上級者・大人

ISBN 978-4789832847

本書は測定をするためのアナログ回路をどうすればいいのかが一通りわかります。IoTが流行りの言葉になっていますが、自然界の温度や濃度なんかをデジタルデータに変換するためにはセンサからの電流電圧をアナログデジタル変換をしなければなりません。しかしセンサーの出力は弱いことが多いので、一旦アンプで増幅するのがセオリーです。その増幅部分をオペアンプでやるための基礎的な知識を一通り実例をもとに解説してくれます。オペアンプやトランジスタなど素子それぞれの使い方を解説した本はたくさんあるのですが、本書は計測のために特化していて、実用的です。基礎的な知識を身に着けるための良書だと思います。(小林竜馬)



計測のためのフィルタ回路設計

遠坂 俊昭

CQ出版

対象：上級者・大人

ISBN 978-4789832823

アナログ信号にはノイズが乗っています。ノイズ対策の方法はたくさんありますが、常套なのはフィルタ回路を使って周波数に応じて信号を分離する方法です。フィルタも様々なものがあり、実用するのは大変。本書ではRC,LCからはじまってアクティブフィルタ、トランス、コモンモードチョーク、ロックインアンプについて解説しています。特に強力な効果を持つロックインアンプは解説書も少ないので非常に参考になるでしょう。(小林竜馬)



研究室ですぐに役立つ電子回路

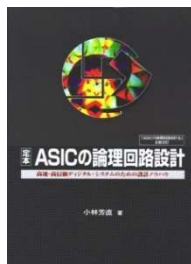
阿部 寛

工学図書

対象: 中級者・大人

ISBN 978-4769204770

物理工学系の研究室で実験をする際に測定器の構成をどうしたらいいのかを解説しています。測定器は高価であることが多く、潤沢に資金のない研究室ではその購入資金が問題になります。それなら自分で作ってしまえということで、いろんな回路の作り方から測定器の作り方など、実験に即した装置をどうやって工夫して作るかについて知ることができます。難しい理屈はいいからとにかく実践で使えるものを知りたいという人にピッタリの本です。コンピュータを使う章はちょっと古くなってきていますが、全体としては今でも実際の使い勝手の良い内容だと思います。(小林竜馬)



定本 ASICの論理回路設計

小林 芳直

CQ出版

対象: 上級者・大人

ISBN 978-4789830447

デジタル回路設計を理解したい中級/上級者向けの本です。ASICやFPGAの論理設計について、ディテールから解説した良書です。具体的には同期式設計の優位性、ステートマシンやジョンソンカウンタについて詳説してあります。これらの分野はデジタル設計業務が日本国内から激減した今ではかなりマニアックな分野であります。なおかつ最近では高位合成等の抽象度の高い記述ができる技術も出てきています。こんなディテールを知らなくとも何とか設計できるんじゃないかと言われるとその通りですが、神は細部に宿るとも言います。ディテールをきちんと押さえてこそ、差別化可能な良い設計ができるのではないかなど、デジタル設計をそこそこやってきたおっさんとしては思うのです。(臼井 温)

§ 3 工作関係



大工道具の歴史

村松 貞次郎

岩波書店

対象:初心者・大人

ISBN 978-4004160656

歴史的名著。50年ほど前の本だが、今読んでもわくわくする本。日本の大工道具の進化を一つずつ丁寧に解説してくれる。たくさんの種類があった工具が次第に洗練されて一つに収れんしてくるのは非常におもしろい。1000年前の工具が意外なところから発見されたりして、何気なく使っている道具の歴史が明らかになります。(小林竜馬)



測定のテクニック (技能ボックス 1)

技能士の友編集部

大河出版

対象:中級者・大人

ISBN 978-4886614018

50年近く前の本ですが、今でも学ぶべきエッセンスが詰まっています。物差しで測るのは小学生でもできます。でもこの本ではその物差しの性能を限界まで引き出す方法を解説しています。本書の方法では0.5mmが最小目盛りの物差しで0.01mmまで読めるようになります。道具を大切に使うことの本質が詰まっています。(小林竜馬)



ねじとねじ回しこの千年で最高の発明をめぐる物語

ヴァイトリブチンスキ

早川書房

対象:初心者・大人

ISBN 978-4150503666

ねじ山を制する者は世界を制する。どこにでも転がっているねじ。ありとあらゆる工業製品に使われているねじは偉大なる発明でした。その歴史を紐解いていく本書はどんな物語よりも面白い。より一層深くねじを好きになるでしょう。(小林竜馬)



現場で役立つ切削加工の勘どころ —西嶋祐切削塾からの提言

西嶋祐

日刊工業新聞社

対象: 上級者・大人

ISBN 978-4526053481

とにかくハイレベル。切削加工をするプロ、本職の加工職人が参考にするための本で、加工面の顕微鏡写真などをふんだんに用いて、加工条件をどう決定したらいいのかわかりやすく丁寧に解説してあります。全部マスターできる人は相当な腕前だと思います。手元に置いておいて何度も読み直して学びたい本です。(小林竜馬)

§ 4 その他



触楽入門

仲谷正史, 箕康明,
三原聡一郎, 南澤孝太

朝日出版社

対象: 初心者・大人

ISBN 978-4255009056

触れる感覚の驚きが詰まった、気づきと世界(知見)がつながる一冊です。ぼくたちが物心つく前の五感についての研究や、触れる感覚についての錯覚、またいろいろな研究から生まれた触覚デバイス「テクタイルツールキット」について、多岐にわたり、分かりやすく丁寧にまとまっています。触れる行為をここまで見つめたことはなかった私としては、目からウロコでした。人とモノとの境目に起こる出来事は、ものづくりを考えていく私たちには欠かせません。ぜひ手にとって触れてみてください。(つくと実行委員会 松本祐典)



統計・防災・環境情報がひと目でわかる地図の作り方

朝日孝輔, 大友 翔一 水
谷貴行, 山手 規裕

技術評論社

対象: 中級者・大人

ISBN 978-4774169132

QGISを活用して具体的に地図を作るための様々な説明が書いてあります。オープンデータを活用するため、スキルさえあればお金を描けずに地図を作れるのが魅力です。ただ、それなりにパソコンに詳しい方向けの内容なので中級者向けとしています。(坂ノ下勝幸)



増補・改訂版 誰のためのデザイン?

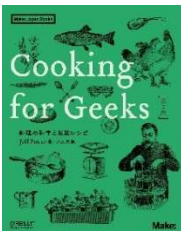
D. A. ノーマン

新曜社

対象: 上級者・大人

ISBN 978-4788514348

ここで言うデザインとは設計全般、特にユーザインタフェースを含む設計の事です。製造業の組み込み現場で製品開発を行っている人はもとより、ものづくりを行っている人たちにユーザインタフェースはどのように設計すべきかの基本的な考え方を学べる良書です。前書籍 誰のためのデザイン? の改訂版です。また著者のD.A.ノーマンはアップルのフェローになっています。(ikkei)



Cooking for Geeks 第2版

Jeff Potter

オライリージャパン

対象: 初心者・大人

ISBN 978-4873117874

料理は化学反応。料理の科学を理解すれば工作と同じになる。日本ではともすれば女性的される料理と男性的とされる工作の垣根を見事に取り払ってくれる本である。本書を読めば料理が一層楽しくなるだろう。(小林竜馬)



アニメ私塾流 最速でなんでも描けるようになるキャラ作画の技術

室井 康雄

エクスナレッジ

対象：初心者・大人

ISBN 978-4767823904

この本に出会ったのは、自分の画力の無さに打ちひしがれ書店をフラフラしてた時でした。顔の描き方、体の描き方、手足の描き方や、パーツの比率、空間の描き方など知らなかった描き方の基本が書かれています、絵を描くのが好きで漫画やアニメが好きな絵師になりたい皆さんにおすすめな一冊です。そして描いて描いてまた描いてください。(れるん)

§ 5 雑誌



トランジスタ技術

月刊

CQ出版

対象：中上級者・大人

雑誌コード 06663

電気電子回路を扱う人にとってバイブルと言ってもよい伝統ある雑誌。内容は非常に幅広く、アナログ回路、デジタル回路、RF、IoT、なんでもござれ。その分野の本職のプロの方が記事を書いているので、どんな技術レベルの方でも勉強になるだろう。初心者が手始めに読むには難しすぎるので、ある程度電子工作の入門をやってから、気になる記事をパラパラ眺めるくらいから入っていくのがいいだろう。毎号の特集が工夫を凝らしていて面白そうな特集号の時に買ってみるのをお勧めします。マンガがあったり、初心者向けと銘打って特集を組んでいたりするのだが、簡単なのは最初だけですぐに難しくなる時もありますね。ある程度技術レベルがある方のおさらいには適していると思います。(小林竜馬)



トラ技Jr.

季刊

CQ出版

対象：初級者・子供

トランジスタ技術を買うとたまに付録としてついできます。トランジスタ技術のスピノフの子供向けの小冊子。学校の先生を通じて申し込むと無料で頂けます。毎回工夫を凝らして、企画を練って、ロボットやロケットなど引きの強いテーマでおもしろい。電子工作が全くできない子にはちょっと難しいが、電子工作が趣味の子供さんがさらにもう一歩学ぶのに最適。もちろん大人が読んでわかりやすくて良いです。(小林竜馬)



子供の科学

月刊

誠文堂新光社

対象：初級者・子供

雑誌コード 03703

この雑誌はサイエンスをわかりやすく解説してくれます。なぜかなと思う素朴な疑問が科学のきっかけであり、その謎は尽きることはありません。ページの隅から隅までぎっしりと詰め込んであり、企画もとても工夫を凝らして、とても勉強になります。(小林竜馬)



ロボコンマガジン

月刊

オーム社

対象：中上級者・子供

雑誌コード 09761

ロボコンという競技に出場するロボットを作るための雑誌です。工作やメカトロニクスなどの硬派な記事がメインになっていて、類書がありませんのでとても参考になります。ロボットを作りたい人なら定期購読してもいいでしょう。(小林竜馬)

§ 6 図書館からはじまるものづくり百鬼夜行 つくるか！開催報告

ものづくりを趣味でやっている方の制作発表会として、有名なMakar Faireのような様々なものづくりイベントが全国各地世界中で開催されています。特に3Dプリンターの価格が下がってきたことなどのデジタルファブリケーションの進歩を背景に、だれでも簡単に複雑なものが作れる時代が来ており、それはメイカームーブメントとしてこの5年10年というスパンでもものづくりイベントの発展が促されてきました。

本イベント「つくるか！」はもともとは福岡が発祥のイベントです。福岡にはあまりこのようなイベントがなかったことから、筆者を含む10数人の有志が集まり、「ものづくり博覧祭つくと！」というイベントを立ち上げたのが始まりです。その後、つくと！は様々な方々のご厚意に支えられ、年2回というハイペースで回を重ね、広島「つくるけえ！」横浜「IoTつくるよ！」として全国に波及しつつあります。

今回、筆者が大阪に移住してきたことと、元からつくと！の大阪版をやりたいという希望を持っていた小野塚氏がFablab Kitakagayaで行われたFab Nightというイベントで出会ったことが直接の契機となり、イベントが開催される運びとなりました。

イベント名称は基本的に「つくる」という単語に方言要素を足すというような緩い縛りがあり、様々な候補の中から、大人も子供もプロも素人も誰でも参加できるというイベントコンセプトに近い、やわらかい語感を持つ「つくるか！」を選定しました。話し合っているうちに「ほなつくるか」というフレーズが浮かんで、それが「みんなでやるよ、やってみよう」というつくるか！イベントの持つ、ゆるふわなイメージと合致して、これしかないという雰囲気になりました。



田名後さん作メインビジュアル



田名後さん作フライヤー

やはり、つくりたいという思いには貴賤はないので、プロでも素人でも同列に並べるべき、というコンセプトがあります。メイカーイベントは回を追うごとに出席者も来場者も先鋭化していき、すごい人しか出展できないような空気ができてくるのではないかと考えています。つくるか！はそういう空気を積極的に打破して当日会場で作るぐらいのノリでもいいよというぐらいのゆるさを大事にしていきたいです。

イベントは2018年12月22,23日(土日)二日間で、全国から43ブースの多様な出展がありました。基調講演として、日本マイクロソフト株式会社 技術統括室CSO 河野 省二 氏に「つくるよろこび、つかってもらよろこび。ビジネスが生まれる瞬間」という演題でご講演をいただき、ものづくりからビジネスへどうやってつなげていくかを、ご経験をもとにわかりやすく解説してくださいました。

他に講演として「技術書出版の経緯と執筆のノウハウ」大阪芸術大学アートサイエンス学科准教授 平原 真 氏、「ケース加工 夜話 -なぜ丸穴は千鳥に並ぶのか-」大阪大学先導的学際研究機構 特任研究員 小林 竜馬 氏がありました。

パネルディスカッションが2講演あり、「ファブトーク」パネラー：ファブラボ北加賀屋 森本 康平 氏 高橋 志津子 氏 伊藤 慎一郎 氏では、メイカーブームやファブラボの現状と未来について、「つくる！トーク」

パネラー：つくと！ 実行委員長 松本 祐典 氏・つくるけえ！ スタッフ 大下 利宏 氏・つくるか！ 実行委員長 小林 竜馬 氏では本イベント「つくるシリーズ」について積極的に意見交換が行われました。



マイクロソフトCSO河野氏



ロボットプロレス



またチームばんびさん主催のロボットプロレスは非常に
関心を集めたようで多くの観客が集まっていました。

ブースは羽ばたき飛行機を会場内で飛ばしたり、ロボッ
トバンドの演奏、家電の分解ワークショップなどバラエ
ティーに富み、来場者を楽しませていました。

来場者は当初想定300名のところ、489名の参加が
ありました。出展者アンケートによると、他のメーカーイベ
ントと来場者層が違ったようで、ものづくりのすそ野を広

げるという意味でよかったです。事故などがなく、無事に開催できたので良かったと
思います。まだ次回に関しては何も決まっておりませんが、必ずやりますので楽しみに
しててください。

謝辞 つくろか！の開催にあたり、様々な方々のお力をお借りました。ここに記して
厚く感謝を申し上げます。

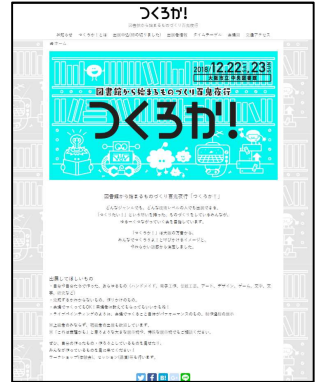
イベントロゴはつくと！発足当初から尼田さんが手掛けており、今回も快く引き受けて
いただきました。メインビジュアルとフライヤーは田名後さんの制作。図書館と百鬼夜行
というフレーズから生まれたかわいらしいデザインは素晴らしかった。ウェブサイトは大下
さんの制作。つくるけえ！の時のWordPressテーマを使わせて頂くと思っていたら、作り
ますよとおっしゃってくださってウェブサイトやアンケート周りなどをやってくださいました。

会場について、いろいろな方にご相談させて頂いて紆余曲折ありましたが、Code for
OSAKA 井上さんの取り持ちで、大阪市立中央図書館の澤谷さんが手を挙げてくだ
さり、中央図書館の5階にある会場を使わせて頂くことになりました。他にもご相談させて
いただいた方々にも感謝をさげます。

出展者として年末のお忙しい中、全国から多数の方に出展して頂きました。

またスタッフとして、総務小野塚さんの多大な貢献がありました。小野塚さんなくてはイ
ベントは開催できなかったでしょう。会計臼井さん、副代表の松永さん、撮影松川さん、
監査鈴木さん、他にも多数の方のご尽力を頂きました。

改めて関わってくださった全ての方がたへ、感謝を申し上げます。



大下さん作ウェブサイト

編集後記

ものづくりのイベントを開催したら、そこから新しいモノが生まれてきてもいいなあと思っていました。ものづくり文化の醸成が趣旨の一つであり、来場者が自分も作ってみたいと思ったり、参加者交流を通じて新しいコラボレーションが生まれているのだと期待しています。ただその他にもっと即物的に、我々自身がイベントを主催することを通じてモノを産み出してもいいと思っていました。イベントやって楽しかった、で済ませていいのだろうか、と。もちろん得るものはたくさんありました。でも我々はイベント屋さんではなく、ものづくりをやっている人間たちの集まりです。「ものづくりイベントを主催したら新しいモノが生まれるよ、だって参加者みんなメイカーだからね」と当たり前と言えることがどれほどすごいことか、メイカーならわかっていただけたらと思います。

そうして様々な可能性を検討し、会場が図書館であることに着眼し、本書評誌企画を想起しました。みなさまのおかげで多様なジャンルの多様な技術レベルの書籍のレビューが多数集まりました。レビューを寄せて下さった方に深い感謝をさげます。

願わくば、本書が新しい技術を身に着けるための扉とならんことを。

つくろか！実行委員会代表 小林竜馬



技術書評

令和元年5月吉日 初版 Printed in Japan.

編集・発行：つくろか！実行委員会

<http://tsukuroka.org/>

©2019 つくろか！実行委員会 All Right Reserved.